

令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	人文科学概論（コミュニケーションを含む）	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年	
担当教官名	平瀬芳美	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	30時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	(1) 試験の解答方式について (2) 接遇、医療面接について（実技・外部講師による特別授業を含む）＊コミュニケーション (3) 上記以外の内容（希望に基づき、パソコンの基礎知識や文芸等）	
到達目標	試験の解答方式を理解する。 身だしなみ・コミュニケーション・一般接遇・医療接遇の基礎的な知識を得る。 医療面接の導入部（最初の開放的質問まで）がスムーズにできるようになる。	
授業計画	前期計（15週）	前期計 15時間
	1. オリエンテーション	1
	2. 各種試験の解答方式	1
	3. 点字について	
	(1) 点字についての基礎知識(用具、構成)	3
	(2) 点字用郵便	1
授業計画	4. 接遇理論 ＊コミュニケーション[7時間]	
	(1) マナーとルール、上座と下座	2
	(2) ノック、名刺交換（ロールプレイを含む）	2
	(3) 電話対応（ロールプレイを含む）	1
	(4) 身だしなみ（外部講師による特別授業を含む）	2
	5. その他	2
授業計画	6. 期末試験	
	後期計（15週）	後期計 15時間
	1. 医療面接	
	(1) 医療面接とは（実践編第1章）	3
	(2) 医療面接の実際（実践編第2章）	3
	(3) 態度と基本的な技法（実践編第3章）	1
授業計画	(4) 四診（実践編第4章）	2
	2. 医療接遇実技 ＊コミュニケーション[4時間]	4
	3. その他	2
	4. 期末試験	
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則24」に基づき、各学期末に期末試験(筆記)を行い、その平均点（小数点以下は切り捨て）を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。	
履修上の留意点	いかなる理由でも、15分を超える遅刻や早退は欠席となります。 再評価試験は、出席要件を満たし、学年末評価が50点以上の場合のみ行います。	
自己学習の進め方	予習よりも復習に重点を置いた学習習慣を期待します。	
使用教科書	改訂版 鍼灸臨床における医療面接 丹澤章八 医道の日本社 2019年	
参考書/参考資料		

令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	社会科学概論	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年	
担当教官名	河原塚 由紀	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	30時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者として必要な福祉を中心とした社会科学諸分野の基礎的知識について学習し、現代社会の諸問題を総合的に把握します。	
到達目標	卒業後の就労時に役立つ知識を身につけることを目標とします。	
授業計画	前期計 (15週)	前期計 15時間
	高齢化社会とは	1
	少子化問題など	1
	後期高齢者医療制度	3
	その他	2
	中間期チェック	1
	中間期チェックの講評	1
	介護保険 制度の概要	3
	介護保険 在宅サービスの種類	2
	期末試験 (総括的評価)	
	期末試験の講評	1
	後期計 (15週)	後期計 15時間
	介護保険 施設サービスの種類	1
	介護保険 その他	2
	国民年金の概要	2
	老齢基礎年金	2
	中間期チェック	1
	中間期チェックの講評	1
	障害基礎年金	3
	遺族基礎年金	1
	その他の年金制度	1
	期末試験 (総括的評価)	
	期末試験の講評	1
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期末に試験(評価)を行い、その平均点(小数点以下は切り捨て)を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。なお、前期、後期ともに習熟度を確認するため中間期チェックを行う予定ですが、これは評価に含まれません。	
履修上の留意点	授業の冒頭では前回の授業の要点を復習します。授業は事前に配布した資料をもとに進め、既習内容については発問を交えて知識の確認をします。なお資料については大きな単位ごとにまとめたものを希望媒体で配布します。	
自己学習の進め方	配布するまとめ資料はあくまで抜粋ですので、講義にしっかり耳を傾けわからない用語などは授業中に質問するなどして確認してください。また普段からニュース等をチェックするなど学習内容にかかわる項目に興味をもつことでより理解が深まると思いますし、また卒業後に活用できる知識として身につくことと思います。	
使用教科書	無	
参考書/参考資料	配布資料	

令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	自然科学概論	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年	
担当教官名	武田 和男	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	30時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	科学史・医療の歴史を通して、自然と生命の奥深さを知り、自然理解を深め、理性の価値を認識し、豊かな自然観を養います。	
到達目標	東西の医学を学ぶ者として必要な、動植物の成長・発育の基礎知識、自然科学の基礎的な理念・概念・法側頭を理解し、説明することができる。	
授業計画	前期計 (15週)	前期計 15時間
	ガイダンス・歌う生物学	2
	生物と細胞	3
	細胞と生物	2
	永遠の生命 H e l a 細胞	2
	笑いと免疫力	2
	インフルエンザとウィルス	1
	脳内革命	2
	まとめの時間	1
	前期期末試験	
授業計画	後期計 (15週)	後期計 15時間
	ウィルスの謎を解いた人々	2
	筋肉の動く仕組みを探る	2
	華岡青洲	1
	伝染病の原因を探せ	2
	沈黙の春	2
	脳はバカ腸は賢い	2
	石炭酸で傷口を洗う	1
	日本の味、醤油	2
	まとめの時間	1
	後期期末試験	
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期末に試験(評価)を行い、その平均点(小数点以下は切り捨て)を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。	
履修上の留意点	再評価試験については、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ行います。やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	毎時間の授業に集中し、考えをまとめて試験前に総合的に復習してください。	
使用教科書	配布資料や教室実験・ビデオ視聴	
参考書/参考資料	「仮説実験授業」「永遠の生命」「発明発見物語」「歌う生物学」その他	

令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	保健体育	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年	
担当教官名	鈴木 奈緒美	
修得単位数	1単位	
年間授業時数	30時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者として必要な健康・安全や身体運動について学び、健康の保持増進のため、運動を実践します。なお、運動器に関する各種不調に合わせたストレッチも随時、紹介します。	
到達目標	身体運動を実践することにより施術に応用する能力と態度を習得することが目標です。	
授業計画	前期計 (15週)	前期計 15時間
	ストレッチ体操	2
	陸上競技	2
	球技	4
	フライングディスク	4
	サウンドテーブルテニス	3
授業計画	後期計 (15週)	後期計 15時間
	カローリング	3
	ターゲットバードゴルフ	3
	ボッチャ	5
	スカットボール	4
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	観察記録法により評価します。	
履修上の留意点	授業の冒頭では前回の授業の復習をし、また授業では各種目の完成を目指します。毎回習得度を確認し、不十分であれば繰り返し練習することで理解を深めます。	
自己学習の進め方	授業でスムーズに身体を動かすことができるように、またケガの予防のため日頃より軽くトレーニングを行ってください。	
使用教科書	無	
参考書/参考資料	必要に応じて配布します。	

令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	解剖学Ⅰ（運動学を含む）	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年	
担当教官名	高橋 務	
修得単位数	4単位	
年間授業時数	120時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者に必要な人体諸器官の位置・形態・構造とその運動について学び、施術に応用する能力を習得します。	
到達目標	解剖学における用語などの基本的事項を理解できる。 骨格及び関節の名称、構造、機能を理解し、説明ができる。 筋の名称、起死及び停止、支配神経、作用を理解し、説明ができる。 神経系の名称、分枝、機能を理解し、説明ができる。	
授業計画	前期計 (15週)	前期計 60時間
	ガイダンス	1
	人体の構成	2
	運動器系（総論）	4
	運動器系（全身の骨格）	32
	運動器系（体幹）	9
	運動器系（上肢）	9
	復習	2
	期末試験	
	期末試験 講評	1
	後期計 (15週)	後期計 60時間
	運動器系（下肢）	11
	運動器系（頭頸部）	11
	神経系	27
	運動学	6
	復習	4
	期末試験	
	期末試験 講評	1
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、前・後期末に試験(評価)を行い、その平均点（小数点以下は切り捨て）を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。	
履修上の留意点	やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。 再評価試験は、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ行います。 適宜、確認問題等を実施します。 進捗状況によっては授業計画が変更になる場合があります。	
自己学習の進め方	授業内容を復習して一連の流れを理解し、授業で示される要点をしっかりと覚えてください。 分類できるものは分類してまとめてください。	
使用教科書	盲学校理療科標準教科用図書 解剖学 第2版20刷 盲学校理療教科用図書編纂委員会編・河野邦雄・伊藤隆造ほか 医歯薬出版 2026年	
参考書/参考資料		

令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	解剖学Ⅱ	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年	
担当教官名	森川 賢一	
修得単位数	3単位	
年間授業時数	90時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	総論、循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、生殖器系、内分泌系、感覚器系の位置・構造・機能について学びます。	
到達目標	総論、循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、生殖器系、内分泌系、感覚器系の位置・構造・機能を理解して、人体や模型上で確認できる、及びそれらについて説明できる。	
授業計画	前期計 (15週)	前期計 45時間
	①オリエンテーション	1
	②第1章 人体の構造	10
	③第4章 消化器	13
	④第3章 呼吸器	10
	⑤第5章 泌尿器	10
授業計画	⑥期末試験	
	⑦講評	1
	後期計 (15週)	後期計 45時間
	⑧第2章 循環器	20
	⑨第6章 生殖器	8
	⑩第7章 内分泌	7
授業計画	⑪第9章 感覚器	9
	⑫期末試験	
	⑬講評	1
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期末に試験(評価)を行い、その平均点(小数点以下は切り捨て)を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。	
履修上の留意点	再評価試験については、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ、行います。やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	すべてを暗記しようとするとても大変な科目です。大事な箇所については授業中に強調します。自己学習の時間を取り、わからない箇所を自ら探し、質問ができるように努めてください。放課後に模型観察を行うこともできます。担当教官までお声がけください。	
使用教科書	盲学校理療科標準教科用図書 解剖学 第2版20刷 盲学校理療教科用図書編纂委員会編・河野邦雄・伊藤隆造ほか 医歯薬出版 2026年	
参考書/参考資料		

令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	生理学 I	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年	
担当教官名	近藤 大樹	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	医療人として必要な人体の機能において、正常な働きを理解する。 今後の病的症状を理解するために必要な知識を学習する。	
到達目標	1 生理学を学ぶ上で基本的な医学用語を理解できる。 2 人体を構成する細胞および器官の正常な働きについて簡潔に説明することができる。 3 医療人として必要な人体の機能について理解する。	
授業計画	前期計 (15週)	前期計 30時間
	オリエンテーション	1
	第1章 生理学の基礎	7
	第2章 循環	13
	第3章 呼吸	8
	前期期末試験 試験講評	1
	後期計 (15週)	後期計 30時間
	第4章 消化と吸収	10
	第5章 代謝	5
	第6章 体温	6
	第7章 排泄	8
	後期期末試験 試験講評	1
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期末に試験を行い、その平均点（小数点以下は切り捨て）を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。	
履修上の留意点	再評価試験については、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ、行います。やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	授業で要点を強調して説明します。 自己学習の時間を十分に確保して、要点を中心に内容の整理を行い、問題演習に取り組むことをおすすめします。	
使用教科書	盲学校理療科標準教科用図書 生理学 第3版13刷 盲学校理療教科用図書編纂委員会編 内田さえ・原田玲子他著 医歯薬出版 2026年	
参考書/参考資料		

令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	医療概論（社会保障制度及び職業倫理を含む）	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年	
担当教官名	高橋 務	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	30時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	現代の医療制度と社会保障制度及び職業倫理と医学史について基礎的知識を学びます。	
到達目標	「現代の医療」について理解し、説明することができる。 「社会保障制度」について各種の分類・説明することができる。 「医学史」について理解することができる。	
授業計画	前期計（15週）	前期計 15時間
	ガイダンス	1
	現代の医学と医療	7
	社会保障制度	5
	復習	1
	期末試験 期末試験 講評	1
	後期計（15週）	後期計 15時間
	社会保障制度	4
	医療倫理	6
	医学史、その他	2
	復習	2
	期末試験 期末試験 講評	1
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、前・後期末に試験(評価)を行い、その平均点（小数点以下は切り捨て）を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。	
履修上の留意点	やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。 再評価試験は、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ行います。 適宜、確認問題等を実施します。 進捗状況によっては授業計画が変更になる場合があります。	
自己学習の進め方	授業内容を復習して一連の流れを理解し、授業で示される要点をしっかりと覚えてください。	
使用教科書	医療と社会(改訂第9版) 不破伸一 岡山ライトハウス 2026年	
参考書/参考資料		

令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	東洋医学概論 I	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年	
担当教官名	阿部 博明	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	東洋医学概論 I は東洋医学系学科の基礎知識として、あん摩マッサージ指圧、はり、きゅうの施術や今後の学習において必要不可欠な科目です。東洋医学の基礎理論（考え方、実践の仕方）を学習します。	
到達目標	東洋医学の基礎理論と特徴、気血津液・臓腑の概念及び生理機能について説明することができる。 病因・病機について説明することができる。	
授業計画	前期計 (15週)	前期計 30時間
	ガイダンス	1
	第1編 東洋医学の基礎理論	
	第1章 東洋医学の意義と特徴	3
	第2章 陰陽論五行論	
	第1節 陰陽論	4
	第2節 五行論	8
	第2編 東洋医学の生理観	
	第1章 東洋医学における人体の構成	2
	第2章 気・血・津・液・精・神の生理	5
	第3章 臓腑	5
	総括的評価（中間試験・期末試験）	
	総括的評価の解答解説	2
	後期計 (15週)	後期計 30時間
	第3章 臓腑	13
	第4章 経絡と経穴	8
	第3編 東洋医学の疾病観	
	第1章 病因論	7
	総括的評価（中間試験・期末試験）	
	総括的評価の解答解説	2
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	前期、後期ともに中間期と期末に「評価及び試験実施要領」第3条に基づく試験(評価)を行い、その平均点(小数点以下は切り捨て)を当該学期の評価点とします。学年末評価は、前期と後期の評価点の平均点(小数点以下は切り捨て)です。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の1つです。形成的評価として、各単元の終了時に問題演習を行います。	
履修上の留意点	再評価試験については、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ、行います。 やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	復習の時間を確保し、授業でまとめた要点を中心に知識の定着に努めてください。単に暗記するだけではなく、東洋医学的な意味を繋げて内容の理解にも努めてください。学習する中でわからないところは曖昧にせず、教科書を見直して問題解決に努めてください。メールでの質問にも対応しますので、一緒に問題を解決しましょう。問題を解決すると、理解が深まり、東洋医学が好きになると思います。	
使用教科書	基礎理療学 I (東洋医学概論) (改訂第8版) オリエンス研究会 岡山ライトハウス 2024年	
参考書/参考資料		

令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	経絡経穴概論 I	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年	
担当教官名	大塚 ゆき	
修得単位数	3単位	
年間授業時数	90時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者に必要な経絡経穴の基本的事項について学び、施術を適切かつ効果的に行う能力を習得します。経絡経穴概論は、鍼灸医学の基本をなすものであり、西洋医学系の解剖学をはじめ、東洋医学概論、東洋医学臨床論と深い関連がある科目です。	
到達目標	(1) 経穴の概要を理解し、説明することができる。 (2) 経穴の名称を暗唱することができる。 (3) 経穴の部位を説明することができる。	
授業計画	前期計 (15週)	前期計 45時間
	①ガイダンス	1
	②経絡・経穴の基礎	3
	③督脈・任脈	8
	④手の太陰肺経	3
	⑤手の陽明大腸経	5
	⑥足の陽明胃経	7
	⑦足の太陰脾経	6
	⑧手の少陰心経	3
	⑨手の太陽小腸経	6
	⑩足の太陽膀胱経	2
	総括的評価 (期末試験)	
	総括的評価の解答解説	1
	後期計 (15週)	後期計 45時間
	⑬足の太陽膀胱経	8
	⑭足の少陰腎経	6
	⑮手の厥陰心包経	4
	⑯手の少陽三焦経	6
	⑰足の少陽胆経	8
	⑱足の厥陰肝経	5
	⑲奇経八脈	2
	⑳奇穴	2
	㉑現代医学的研究	2
	総括的評価 (中間・期末試験)	
	総括的評価の解答解説	2
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	前期は期末、後期は中間期と期末に「評価及び試験実施要領」第3条に基づく試験(評価)を行います。前期は期末、後期は中間期と期末の平均点(小数点以下は切り捨て)を当該学期の評価点とします。学年末評価は、前期と後期の評価点の平均点(小数点以下は切り捨て)です。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の1つです。	
履修上の留意点	再評価試験については、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ、行います。やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。進捗状況によっては、授業計画が変更になることもあります。	
自己学習の進め方	初めに「経穴の概要」を理解することが重要です。授業内容を復習して流注(東洋医学でいう各経絡内の一方向性の流れと、経絡間を連絡する流れのこと)を理解し、授業で示される要点をしっかりと覚えてください。経穴名の暗唱から始め、その後は取穴できるように繰り返し復習をしてください。	
使用教科書	新版 経絡経穴概論 拡大版 第2版14刷 日本理療科教員連盟・公益社団法人 東洋療法学校協会 編 医道の日本社 2026年	
参考書/参考資料		

令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	あん摩マッサージ指圧基礎実習Ⅰ	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年	
担当教官名	近藤 大樹	
修得単位数	4単位	
年間授業時数	120時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	あん摩の基本手技7種類を適切に組合わせて、身体各部への施術及び全身を通しての施術を行う技術を学びます。	
到達目標	(1) 身だしなみを整え、適切な言葉遣いができる。 (2) あん摩の基本手技を正確かつ安全に行うことができる。 (3) 適切な姿勢・位置取りで重心移動による漸増漸減の加圧ができる。 (4) 施術に関わる衛生管理・リスク管理・時間管理ができる。 (5) 施術に必要な触察(解剖学的構造の理解、身体把握など)ができる。 (6) 施術に必要な体力が身についている。	
授業計画	前期計 (15週)	前期計 60時間
	オリエンテーション	2
	あん摩の基本手技	14
	坐位のあん摩(復習を含む)	20
	側臥位のあん摩(復習を含む)	22
	前期期末試験 試験講評 施術所見学実習	1 1
授業計画	後期計 (15週)	後期計 60時間
	前期の復習	4
	側臥位のあん摩(復習を含む)	15
	腹臥位のあん摩(復習を含む)	26
	背臥位のあん摩(復習を含む)	12
	あん腹・古法あん摩 後期期末試験 試験講評	2 1
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、前期と後期の期末に実技試験を実施します。各学期の評価(実技試験90%、平常点10%)の平均点を学年末評価とします(小数点以下は切り捨て)。	
履修上の留意点	再評価試験は、実施しません。 やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	授業内容を復習して一連の流れを理解し、授業で示される要点を中心に繰り返し練習してください。 施術のための健康・体力・身だしなみにも留意してください。	
使用教科書	保健理療基礎実習 第2版 都立文京盲学校理療科研究会 日本ライハウス 2013年	
参考書/参考資料		

令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	あん摩マッサージ指圧基礎実習Ⅱ	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年	
担当教官名	渡邊 麗恵	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	本授業では、施術者として必要なマッサージ施術に関する基礎的な知識（基本手技・感染対策・リスク管理等）と技能（各基本手技や部位毎の施術手順）について学び、施術を適切かつ効果的に行う能力と態度の獲得を目指します。	
到達目標	(1) 身だしなみを整え、適切な言葉遣いができる。 (2) マッサージ施術の基本手技を正確かつ安全に行うことができる。 (3) 適切な姿勢・位置取りで重心移動による漸増漸減の加圧ができる。 (4) 施術に関わる衛生管理・リスク管理・時間管理ができる。 (5) 施術に必要な触察（解剖学的構造の理解、身体把握など）ができる。 (6) 施術に必要な体力が身についている。	
授業計画	前期計 (15週)	前期計 30時間
	1 ガイダンス	2
	2 基本手技の紹介	2
	3 身体各部位のマッサージ	
	①前腕部 ②下腿部 ③手関節	12 10 4
	後期計 (15週)	後期計 30時間
	3 身体各部位のマッサージ	
	④手関節 ⑤足関節 ⑥膝関節 ⑦肩関節	2 10 8 10
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、前期と後期の期末に実技試験を実施します。各学期の評価（実技試験90%、平常点10%）の平均点を学年末評価とします（小数点以下は切り捨て）。	
履修上の留意点	授業への参加に当たっては、施術者としてふさわしい身だしなみや態度（清潔な白衣の準備、言葉遣い、体調管理、爪を整えるなど）を心がけてください。授業中はマスクの着用を求めます。	
自己学習の進め方	上肢の筋力がつくよう日々訓練し、爪と手指の手入れを行い、医療従事者として健康に留意し、清潔であるように努めてください。	
使用教科書	保健理療基礎実習 第2版 都立文京盲学校理療科研究会 日本フットハウス 2013年	
参考書/参考資料	必要に応じて配布します。	

令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	はりきゅう基礎実習Ⅰ	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年	
担当教官名	近藤 大樹	
修得単位数	3単位	
年間授業時数	90時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	はり師として用具の基本的な取り扱い、衛生的操作、施術の流れ、生態観察の基本、主な経穴の取穴法、安全な鍼施術の基礎知識と技能を習得する。	
到達目標	(1) 身だしなみを整え、適切な言葉遣いができる。 (2) 鍼施術の基本操作を正確かつ安全に行うことができる。 (3) 押手を安定させ直刺ができる。 (4) 一定時間内に身体各部位（経穴）への刺鍼ができる。 (5) 合理的な動作で適切に器具を取り扱うことができる。 (6) 鍼施術に関わる衛生管理・リスク管理・時間管理ができる。	
授業計画	前期計 (15週)	前期計 45時間
	オリエンテーション	2
	実技室の使い方、手洗い、手指消毒、実技における諸注意	2
	揉捏法、押手、留管、弾入法	2
	挿管法（両手・片手）	5
	銀鍼を用いた刺鍼練習（刺鍼練習器）	10
	皮膚の消毒法	2
	下肢への刺鍼（自分）	7
	下肢への刺鍼（他者）	7
	下腿の主な経穴への刺鍼	7
	前期期末試験 試験講評	1
	後期計 (15週)	後期計 45時間
	前腕部の主な経穴への刺鍼	6
	腰部の主な経穴への刺鍼	12
	背部の主な経穴への刺鍼	6
	肩部の主な経穴への刺鍼	6
	頸部の主な経穴への刺鍼	3
	頭部の主な経穴への刺鍼	3
	胸腹部の主な経穴への刺鍼	3
	顔面部の主な経穴への刺鍼	1
	膝関節周囲の主な経穴への刺鍼	3
	指サック、グローブを装着した刺鍼体験	1
	後期期末試験 試験講評	1
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、前期と後期の期末に実技試験を実施します。各学期の評価（実技試験90%、平常点10%）の平均点を学年末評価とします（小数点以下は切り捨て）。	
履修上の留意点	再評価試験は、実施しません。 やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	授業内容を復習して一連の流れを理解し、授業で示される要点を中心に繰り返し練習してください。解剖学や経絡経穴概論の内容が多く含まれるため、事前に関連項目の内容を確認すること。	
使用教科書	鍼灸実技 基礎と臨床（改訂第5版） オリエンス研究会 岡山ライハウス 2021年	
参考書/参考資料		

令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	はりきゅう基礎実習Ⅱ	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年	
担当教官名	高橋 務	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者として、安全かつ衛生的に灸施術を行うための基礎的な知識・技能の習得、医療人としての基本的な態度を養うことを目標とします。 生体観察の基本及び身体各部位（常用する経穴）への灸施術に際しての注意点や過誤・副作用・事故への対処法についても学習します。	
到達目標	(1) 身だしなみを整え、適切な言葉遣いができる。 (2) 施灸の基本操作を正確かつ安全に行うことができる。 (3) 決められた大きさと形で艾柱を作成できる。 (4) 一定時間内に定められた部位（経穴）への施灸ができる。 (5) 合理的な動作で適切に器具を取り扱うことができる。 (6) 灸施術に関わる衛生管理・リスク管理・時間管理ができる。	
授業計画	前期計 (15週)	前期計 30時間
	ガイダンス	1
	施術室の管理、リスク管理、灸の基礎知識	2
	台座灸の点火と施灸	8
	知熱灸艾柱の作成	8
	線香への点火	6
授業計画	復習	4
	期末試験	
	期末試験 講評	1
	後期計 (15週)	後期計 30時間
	各種灸法（カマヤミニ・MT温灸器等）による施灸	4
	隔物灸による施灸	2
授業計画	台座灸による経穴部位の施灸	20
	復習	3
	期末試験	
	期末試験 講評	1
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、前・後期末に実技試験を実施します。各学期の評価（実技試験90%、平常点10%）の平均点を学年末評価とします（小数点以下は切り捨て）。	
履修上の留意点	身体や白衣を清潔に保つとともに、施術者として相応しい対応を心掛けてください。 進捗状況によっては授業計画が変更になる場合があります。	
自己学習の進め方	この実習で身につける知識・技能は、解剖学や経絡経穴概論に関連する学習内容が多く含まれていますので、積極的に当該科目の復習を行ってください。また、やけどや火災の危険があるため、授業時間以外は火を扱わない練習を行ってください。火を扱う練習をしたい場合には、担当教官が立ち会いますので、遠慮なく声をかけてください。	
使用教科書	鍼灸実技 基礎と臨床（改訂第5版） オリエンス研究会 岡山ライトハウス 2021年	
参考書/参考資料		

令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	あん摩マッサージ指圧基礎実習Ⅲ	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年	
担当教官名	大塚 ゆき	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	あま指師として必要な指圧の施術に関する基礎的な知識と技能について学習する。また施術を適切かつ効果的に行うために必要な能力を習得する。	
到達目標	(1) 身だしなみを整え、適切な言葉遣いができる。 (2) 指圧施術の基本手技を正確かつ安全に行うことができる。 (3) 適切な姿勢・位置取りで重心移動による漸増漸減の加圧ができる。 (4) 施術に関わる衛生管理・リスク管理・時間管理ができる。 (5) 施術に必要な触察（解剖学的構造の理解、身体把握など）ができる。 (6) 施術に必要な体力が身についている。	
授業計画	前期計 (15週)	前期計 30時間
	オリエンテーション	1
	指圧の基本手技と施術上の基本的事項	2
	腹臥位（伏臥位）の指圧	26
	期末試験	
	期末試験 講評	1
授業計画	後期計 (15週)	後期計 30時間
	前期の復習	2
	背臥位（仰臥位）の指圧	22
	横臥位（側臥位）の指圧	3
	座位の指圧	2
	期末試験 期末試験 講評	1
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、前期と後期の期末に実技試験を実施します。各学期の評価（実技試験90%、平常点10%）の平均点を学年末評価とします（小数点以下は切り捨て）。	
履修上の留意点	再評価試験は、実施しません。 やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	術者の姿勢、手指の使い方、圧の方向、体重移動を意識しながら内容を整理し、実技の流れを説明できるようにしておくこと。 また、実技練習後は自分の課題を振り返り、次回の授業までに改善点を確認しておくことをおすすめします。	
使用教科書	保健理療基礎実習 第2版 都立文京盲学校理療科研究会 日本ライハウス 2013年	
参考書/参考資料		